



平成18年3月期 第1四半期財務・業績の概況（連結）

平成17年8月10日

上場会社名 株式会社京三製作所

(コード番号 6742 東証・大証第1部)

(URL <http://www.kyosan.co.jp>)

代表者 役職名 代表取締役社長 西川 勉

問合せ先 役職名 執行役員経理部長 宮崎 和明

TEL : (045) 503 - 8106

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (内容) 税金費用の計上基準等
 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成18年3月期第1四半期財務・業績の概況(平成17年4月1日～平成17年6月30日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(百万円未満切り捨て)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年3月期第1四半期	10,056	5.2	1,406		1,348		893	
17年3月期第1四半期	10,606	22.1	239		167		1,041	
(参考)17年3月期	67,310		2,947		3,119		739	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
18年3月期第1四半期	14	23	-	-
17年3月期第1四半期	16	59	-	-
(参考)17年3月期	10	54	10	49

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

〔経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等〕

当第1四半期におけるわが国経済は、企業収益や設備投資など緩やかな回復基調にあるものの、原油など原材料価格の上昇による企業収益への影響が懸念され、依然として予断を許さない状況で推移しました。

このような状況下、当社グループの第1四半期の売上高は、10,056百万円(前年同四半期比5.2%減)となりました。また、事業のセグメント別売上高では、信号システム事業が7,739百万円(前年同四半期比5.0%減)、電気機器事業が2,317百万円(前年同四半期比5.9%減)となり共に前年同四半期に比べて減少となりました。

収益面につきましては、競争激化による低価格化が定着するなか、当第1四半期は、前年同四半期に比べて新規開発製品の案件が多く、その開発費初期負担などが売上原価を押し上げることとなりました。その結果、経常損失1,348百万円となり前年同四半期に比べて1,180百万円の悪化となりました。四半期純損失は893百万円と前年同四半期に比べて148百万円の改善となりました。尚、前年同四半期は、固定資産の減損会計を早期適用しております。

当社グループの主力製品であります信号システム事業の出荷は中間期末や年度末に集中するため、第1四半期の売上高および利益は、例年低い水準で推移する傾向にあります。

引き続き、コスト低減の徹底、品質・技術力の向上ならびに営業力の強化を図り、業績の向上に全力を傾注してまいります。

(2) 財政状態(連結)の変動状況 (百万円未満切り捨て)

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり 株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第1四半期	69,557	29,937	43.0	476 95
17年3月期第1四半期	78,611	31,621	40.2	503 70
(参考)17年3月期	78,215	31,533	40.3	501 12

【連結キャッシュ・フローの状況】 (百万円未満切り捨て)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年3月期第1四半期	4,196	309	3,008	5,512
17年3月期第1四半期	3,757	438	3,493	6,641
(参考)17年3月期	117	375	810	4,636

〔財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等〕

当第1四半期の総資産は前連結会計年度に比べて8,658百万円減少し、69,557百万円となりました。

主な増減としましては、流動資産では現金及び預金が878百万円増加し、受取手形及び売掛金が10,523百万円減少、たな卸資産が663百万円増加しました。固定資産では投資有価証券が時価評価等により681百万円減少しました。流動負債では支払手形及び買掛金が2,845百万円減少し、短期借入金が長期借入金より1年以内返済予定の金額5,665百万円を計上したため2,280百万円増加しました。固定負債では長期借入金が短期借入金と同様の理由により5,068百万円減少しました。

この結果、株主資本は前連結会計年度末に比べて1,595百万円減少し、29,937百万円となり、株主資本比率は43.0%となりました。

また、当第1四半期におけるキャッシュ・フローの状況は、営業活動によるキャッシュ・フローは仕入債務等の減少を売上債権等の回収が上回ったため、4,196百万円のプラスとなりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは有形固定資産の取得による支出等により、309百万円のマイナスとなりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは短期借入金の返済による支出等により3,008百万円のマイナスとなりました。

この結果、現金及び現金同等物は前連結会計年度末と比べて876百万円増加し、5,512百万円となりました。

3. 平成18年3月期の連結業績予想(平成17年4月1日~平成18年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	27,000	200	100
通期	62,000	2,500	1,400

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) 22円30銭

〔業績予想に関する定性的情報等〕

平成17年5月19日に公表しました業績予想に変更はありません。

* 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

添付資料

- ・要約四半期連結貸借対照表
- ・要約四半期連結損益計算書
- ・四半期連結剰余金計算書
- ・要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書
- ・セグメント情報

(要約) 四半期連結貸借対照表

(単位 百万円)

科 目	当第1四半期末 (平成17年6月30日現在)	前第1四半期末 (平成16年6月30日現在)	前連結会計年度 (平成17年3月31日現在)	対前連結会計年度 増 減
	金 額	金 額	金 額	金 額
(資産の部)				
流 動 資 産	44,828	52,725	53,145	8,316
現金及び預金	7,411	8,587	6,532	878
受取手形及び売掛金	12,264	11,754	22,787	10,523
たな卸資産	23,466	30,315	22,803	663
繰延税金資産	1,413	1,736	860	553
その他	281	338	178	103
貸倒引当金	8	8	17	8
固 定 資 産	24,729	25,886	25,070	341
有形固定資産	8,287	7,833	8,132	154
建物及び構築物	2,543	1,837	2,229	313
土地	3,938	4,049	3,938	
その他	1,804	1,945	1,964	159
無形固定資産	384	409	393	9
投資その他の資産	16,058	17,643	16,544	485
投資有価証券	10,189	13,631	10,870	681
関係会社株式	2,300	2,096	2,284	16
繰延税金資産	2,298	339	2,022	276
その他	1,408	1,648	1,438	30
貸倒引当金	138	72	71	66
資 産 合 計	69,557	78,611	78,215	8,658

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位 百万円)

科 目	当第1四半期末 (平成17年6月30日現在)	前第1四半期末 (平成16年6月30日現在)	前連結会計年度 (平成17年3月31日現在)	対前連結会計年度 増 減
	金 額	金 額	金 額	金 額
(負債の部)				
流 動 負 債	29,443	31,820	30,751	1,307
支払手形及び買掛金	10,308	16,726	13,153	2,845
短期借入金	13,950	9,254	11,670	2,280
その他	5,184	5,839	5,927	742
固 定 負 債	9,950	14,954	15,701	5,750
長期借入金	1,494	6,075	6,563	5,068
退職給付引当金	7,997	8,429	8,595	598
役員退職慰労引当金	448	435	531	82
その他	10	14	10	0
負 債 合 計	39,394	46,775	46,452	7,057
(少数株主持分)				
少 数 株 主 持 分	225	215	229	4
(資本の部)				
資 本 金	6,270	6,270	6,270	
資 本 剰 余 金	4,667	4,667	4,667	
利 益 剰 余 金	16,359	15,990	17,551	1,191
その他有価証券 評価差額金	2,740	4,800	3,145	405
為替換算調整勘定	77	86	79	2
自 己 株 式	22	20	21	1
資 本 合 計	29,937	31,621	31,533	1,595
負債、少数株主持分 及び資本合計	69,557	78,611	78,215	8,658

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(要約) 四半期連結損益計算書

(単位 百万円、%)

科 目	当第1四半期 自平成17年4月1日 至平成17年6月30日		前第1四半期 自平成16年4月1日 至平成16年6月30日		対前第1四半期 増 減		前連結会計年度 自平成16年4月1日 至平成17年3月31日	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	増減率	金額	百分比
売 上 高	10,056	100.0	10,606	100.0	549	5.2	67,310	100.0
売 上 原 価	9,301	92.5	8,571	80.8	730	8.5	55,383	82.3
売 上 総 利 益	754	7.5	2,034	19.2	1,279	62.9	11,927	17.7
販売費及び一般管理費	2,161	21.5	2,273	21.4	112	5.0	8,980	13.3
営 業 利 益	1,406	14.0	239	2.2	1,167		2,947	4.4
営 業 外 収 益	149	1.5	161	1.5	12	7.6	529	0.7
営 業 外 費 用	90	0.9	89	0.9	1	1.3	357	0.5
経常利益又は損失	1,348	13.4	167	1.6	1,180		3,119	4.6
特 別 利 益			588	5.6	588		786	1.2
投資有価証券売却益			544		544		716	
そ の 他			44		44		70	
特 別 損 失	94	0.9	2,289	21.6	2,194		2,769	4.1
減 損 損 失			2,239		2,239		2,368	
そ の 他	94		49		45		400	
税金等調整前四半期純損失() 又は税金等調整前当期純利益	1,442	14.3	1,867	17.6	424		1,136	1.7
税 金 費 用	545		802		257		406	
少 数 株 主 損 失	4		24		19		9	
四半期純損失() 又は当期純利益	893	8.9	1,041	9.8	148		739	1.1

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結剰余金計算書

(単位 百万円)

科 目	当第1四半期 自平成17年4月1日 至平成17年6月30日	前第1四半期 自平成16年4月1日 至平成16年6月30日	前連結会計年度 自平成16年4月1日 至平成17年3月31日
	金 額	金 額	金 額
(資本剰余金の部)			
資本剰余金期首残高	4,667	4,667	4,667
資本剰余金四半期末(期末)残高	4,667	4,667	4,667
(利益剰余金の部)			
利益剰余金期首残高	17,551	17,345	17,345
利益剰余金増加高			739
当期純利益			739
利益剰余金減少高	1,191	1,355	533
配当金	219	219	439
取締役賞与金	78	94	94
四半期純損失	893	1,041	
利益剰余金四半期末(期末)残高	16,359	15,990	17,551

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位 百万円)

科 目	当第1四半期 自平成17年4月1日 至平成17年6月30日	前第1四半期 自平成16年4月1日 至平成16年6月30日	前連結会計年度 自平成16年4月1日 至平成17年3月31日
	金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期純損失() 又は税金等調整前当期純利益	1,442	1,867	1,136
減価償却費	233	254	774
減損損失		2,239	2,368
投資有価証券売却益		544	716
売上債権の増減額(増加:)	10,527	12,279	1,253
たな卸資産の増減額(増加:)	649	4,799	2,720
仕入債務の増減額(減少:)	2,971	1,922	5,354
法人税等の支払額	806	1,258	1,452
その他	695	625	849
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,196	3,757	117
投資活動によるキャッシュ・フロー			
投資有価証券の売却による収入		594	814
有形固定資産の取得による支出	329	302	1,317
その他	20	146	128
投資活動によるキャッシュ・フロー	309	438	375
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額(減少:)	2,658	3,150	873
長期借入による収入			1,100
長期借入金の返済による支出	130	121	593
配当金の支払額	219	219	439
その他	0	1	4
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,008	3,493	810
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	0	0
現金及び現金同等物の増減額(減少:)	876	702	1,303
現金及び現金同等物期首残高	4,636	5,939	5,939
現金及び現金同等物四半期末(期末)残高	5,512	6,641	4,636

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

セグメント情報

1. 事業の種類別セグメント情報

(単位 百万円)

科 目	当第1四半期(自平成17年4月1日 至平成17年6月30日)				
	信号システム事業	電気機器事業	計	消去又は全社	連結
売上高と営業損益					
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	7,739	2,317	10,056		10,056
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	67	275	342	(342)	
計	7,806	2,592	10,399	(342)	10,056
営業費用	8,732	2,483	11,216	246	11,463
営業利益又は損失()	925	109	816	(589)	1,406

(単位 百万円)

科 目	前第1四半期(自平成16年4月1日 至平成16年6月30日)				
	信号システム事業	電気機器事業	計	消去又は全社	連結
売上高と営業損益					
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	8,144	2,461	10,606		10,606
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	59	350	409	(409)	
計	8,203	2,811	11,015	(409)	10,606
営業費用	8,247	2,441	10,688	156	10,845
営業利益又は損失()	43	370	327	(566)	239

(単位 百万円)

科 目	前連結会計年度(自平成16年4月1日 至平成17年3月31日)				
	信号システム事業	電気機器事業	計	消去又は全社	連結
売上高と営業損益					
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	55,028	12,282	67,310	-	67,310
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	187	2,367	2,554	(2,554)	-
計	55,215	14,650	69,865	(2,554)	67,310
営業費用	51,724	12,956	64,681	(317)	64,363
営業利益	3,490	1,693	5,184	(2,236)	2,947

- (注) 1. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。
3. 各事業の主な製品
(1) 信号システム事業.....列車運行管理システム、列車保安制御システム、交通管制システム
(2) 電気機器事業電力変換装置
4. 営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用は、親会社の管理部門等に係る費用であります。

2. 所在地別セグメント情報

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が、いずれも 90%を超えるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

3. 海外売上高

当第 1 四半期（自 平成 17 年 4 月 1 日 至 平成 17 年 6 月 30 日）

海外売上高は連結売上高の 10%未満でありますので記載を省略いたしました。

前第 1 四半期（自 平成 16 年 4 月 1 日 至 平成 16 年 6 月 30 日）

海外売上高は連結売上高の 10%未満でありますので記載を省略いたしました。

前連結会計年度（自 平成 16 年 4 月 1 日 至 平成 17 年 3 月 31 日）

（単位 百万円）

	アジア	その他	計
海外売上高	9,298	1,060	10,359
連結売上高			67,310
連結売上高に占める 海外売上高の割合	13.8%	1.6%	15.4%

（注）1. 地域は、地理的近接度により区分しております。各区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

（1）アジア・・・・・・・・台湾、中国、韓国等

（2）その他・・・・・・・・アメリカ等

2. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。